

税理士・社会保険労務士・中小企業診断士

水野会計事務所

500-8288 岐阜市中鶉 3-70-7

TEL058-273-2484 FAX058-273-2416

みずの通信

2014. 新年号



今年もよろしくお願いたします

平成26年 元旦



所長 水野 雄二

昨年から税務調査の手続きが変わり、見える化、書類化が進められたことにより、税務調査が長引くようになりました。しかしながら、昨年は、全般的に声を荒げあうような調査はありませんでした。相続税の調査は増えています。

昨年の大きな改正は、教育資金一括贈与制度の創設と事業承継税制の改正でしょう。教育資金の一括贈与は説明やアドバイスをすることはあっても税理士の仕事にはあまり関係ありません。事業承継税制は改正されたことにより、相続税については機会があれば使ってみてもよいように思いました。リスクの話は常に出ますが、巷で言われる他の相続税対策も結構、リスクが高いのではないかと考えています。

今、創業補助金が話題となっています。新規創業、第二創業（新事業を言います）を立ち上げる際に助成されます。ハードルは高過ぎず低くもないという感じです。金融機関の押印が必要ですが、金融機関は最寄の銀行でも日本政策金融公庫でも構いません。経営革新等支援認定機関の押印も必要ですが、私どももその機関として認定されています。興味のある方は、「創業補助金」でネット検索してみてください。

旧民法法人（財団法人、社団法人）の新しい法人制度への移行期間が昨年の12月に終了しました。改正時から私は公益認定等委員会の議事録にほぼ目を通してきましたが、この経過期間の5年の間に、ずいぶん考え方が変わったなあと感じます。

制度とは、それが施行され始めるとそれを創った人たちの手を離れ、違ったものになっていくと言われますが、毎度のことですが、今回もそのように感じました。



昨年の11月に岐阜県交響楽団の60周年記念演奏会、マーラーの「復活」の合唱隊としてステージに立ちました。全曲は90分ぐらいの大曲ですが、合唱はラスト10分ほどに過ぎません。そ

れでも合唱が始まるまでの80分ほどは、ステージでじーっと座って聴いていることになります。それが相撲の仕切りのようなものになるのでしょうか、苦痛ではありますが集中力が増してきます。そして合唱が始まって、出だしも静かで、一つ一つ確かめるようにきっちりと歌っていくことになります。そのため、クライマックスに入って、弾けるように歌いだすところになると、全ての緊張と圧迫が一気に解き放たれ、満ち足りた感慨が心の底から湧きあがってきました。まさに天国に昇っていくような心地よさでした。

指揮者がそれを狙っていたとしたら、すごい指揮者だと思います。

フラメンコギターは細々と続けています。仕事が詰んできて練習が全くできないと、教室に行くのが辛くなります。本来は、趣味は仕事のストレス解消のはずなのですが、仕事でもストレス、趣味でもストレス、押しつぶされそうになります。生真面目な私には仕事と趣味の両立は大変です。

夏に所用でアメリカのシアトルへ行ってきました。大変穏やかな街で、気候も良い時期で、避暑地にはぴったりだと思いました。いかにも観光地という感じがしないのがよいです。

景気が過熱してくると、大企業が資金にものを言わせて大攻勢をかけてきます。まともにぶちあつたては、小企業はひとたまりもありません。アベノミクスの効果は絶大ですが、個々の企業業績、個々人の生活においては、悲喜こもごもでしょう。当たり前のことですが、要はアベノミクスの陰でなく、光の当たる位置にわが身を置くことが大切になります。それを見極めることが難しいのですが。

また、大変な一年が始まります。逃げ出しても仕方がありません。今年も知恵を絞り合いましょう。

